

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	砂防等事業（通常砂防事業）					
地区名	しるやまさわ 城山沢					
事業箇所	とよたしあすけちようちない 豊田市足助町地内					
事業のあらまし	<p>矢作川水系城山沢は、愛知県豊田市足助町に位置する土石流危険渓流である。周辺地域では過去に甚大な土砂災害が発生しており、城山沢も同様な素因を有している。また、城山沢がある足助地区は、香嵐渓と中馬街道の古い町並みが残る愛知県内有数の観光地であり、年間 103 万人が訪れる観光名所である。</p> <p>本事業は、それらの観光地の環境及び景観に配慮しながら、下流の人家 12 戸及び市道を土砂災害から保全するため、平成 13 年度から砂防設備の整備に着手し平成 24 年度に完了した。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】 人家 12 戸及び市道 55m を土砂災害から保全する。</p> <p>【副次目標】（事前評価時に設定した場合、記載する） なし</p>					
事業費	事業費		内訳			
	5.04 億円		□工事費 2.83 億円、□用補費 1.91 億円、□その他 0.30 億円			
事業期間	採択年度	平成 13 年度	着工年度	平成 13 年度	完成年度	平成 24 年度
事業内容	砂防堰堤工 1 基 渓流保全工 139m					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】 城山沢で土石流が発生した場合の流出土砂量を現地調査の結果から算出し、それを捕捉することが出来る規模の砂防設備を計画した。</p> <p>現在も流域界の状況に変化はなく、計画を変更する必要は生じていない。</p> <p>H24 年に計画を満足する砂防設備を整備し、完成した。</p> <p>砂防設備は現在も健全な状態を維持している。</p> <p>そのため、城山沢で土石流が発生しても、砂防設備で捕捉し保全対象を守ることが出来る。</p> <p>また、過去に近隣で発生した土砂災害では、砂防設備が実際に流出土砂を捕捉し下流の被害を防いだ実績があり、土砂災害に対して砂防設備は有効である。</p> <p>【達成状況に対する評価】 主要目標に対し、目標を達成した。</p>				
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】 該当なし</p> <p>【達成状況に対する評価】 該当なし</p>				

【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】

		事業採択時	実績
事業期間		H13～H18	H13～H24
事業費 (億円)	調査設計費	0.28	0.30
	工事費	2.43	2.83
	用地補償費	1.89	1.91
	合計	4.60	5.04
効果の 算定 要因	保全対象人家	12戸	12戸
	保全対象公共施設	なし	なし
	県道、市町村道	0.05km	0.05km

②事業効果の
発現状況

【事業期間に対する評価】

当初は、観光の中心地を通る一方通行の狭い市道を工事用車両の運行経路として利用し、工事を実施する計画であったが、事業開始後、国道 153 号足助バイパスの計画が明らかになったため、一般観光客の安全を考慮し制約の多い市道を利用する計画を取り止め、H20 年のバイパスの開通を待ち工事を行う計画に変更した。そのため、事業期間を 6 年間延長することとなったが、やむを得ないものである。

【事業費に対する評価】

下流側の溪流保全工について、当初は上流より工事を行う計画であったが、足助川に仮橋を設置し下流より工事を行う計画に変更したことにより、事業費が採択時より 0.44 億円増えたが、観光客等の安全を考慮するとやむを得ないものである。

【効果の算定要因に対する評価】

事業採択時と変化はない。

③事業実施による環境の
変化

施工範囲は必要最小限として、工事により改変した部分も現在は植生も順調に回復しており、自然環境への影響は最小限にとどめられたと考えている。

また、今回の事業箇所は、豊田市景観条例に基づく景観重点地区及び文化財保護法に基づく伝統的建造物群保存地区と重なっており、伝統的な建造物及び景観に配慮する必要があるが、

そのため、出来るだけ施工前の地形を保全し、緑化が見込まれる工法を選定、使用する材料の色彩等にも配慮し、周辺と調和のとれた違和感のない景観を形成できた。

III 対応方針

今後の事後評価の
必要性

事業目標を達成しており、今後の事後評価の必要性はない。

改善措置の
必要性

事業目標を達成しており、改善措置の必要性はない。

同種事業に反映すべき
事項

本事業箇所は、景観重点地区及び伝統的建造物群保存地区と重なっており、周辺の景観に配慮する必要があるが、地元自治体と協議を重ね、周辺と調和のとれた違和感のない景観を形成できたと考えている。

歴史ある町並みと調和の取れた施工例として、同種事業の景観計画立案時に参考としたい。

IV 事業評価監視委員会の意見

改善措置等必要なし

V 対応方針

改善措置等必要なし